

”教育・研究・臨床”一体整備による改革プランの具現化 と 地域医療を支える病院機能の高度化

■ 琉球大学病院の立ち位置と改革プランの推進【事業の位置付け／～地域課題の解決 × 理念の実現～】

沖縄県内唯一の大学病院・特定機能病院
(地域完結型医療の最後の砦、医学教育・研究の中核)

環境変化
(キャンパス移転、働き方改革、医療ニーズ変化)

「琉球大学病院改革プラン(R6-R11)」
策定・推進

【琉球大学病院の基本理念】

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、
地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する

本事業は、**教育・研究・診療機能の一体的な高度化のための駆動力となる基盤を整備**することで、**改革プランの具現化を加速化**するものである

■ 沖縄県の課題と大学病院の役割 【改革プランに基づく整理】

● 沖縄県の構造的課題

- ・ 離島・へき地を含む医師・診療科偏在
- ・ 高齢化、高度・専門医療へのアクセス確保
- ・ 医療人材の育成と県内循環




移転を絶好の好機と捉え、
改革プランの推進により、
地域課題の解決と
病院基本理念の具現化を実現

● 改革プランにおける本院の役割

- ・ 高度・先進医療の安定的提供、地域医療機関との機能分担
- ・ 教育・研究・臨床融合、質の高い医療人育成
- ・ 県・医師会等と連携、持続可能な地域医療提供体制の構築牽引

■ 改革プランを具現化する3つの基盤整備

【本事業による具体的投資／教育・研究・臨床の一体的な推進】

①高度周術期・内視鏡基盤	②病理・分子診断基盤	③統合データ・研究基盤(DX)
(改革プラン目標:診療機能の高度化、実践的教育の充実)	(改革プラン目標:研究機能進化、診療研究の中央拠点化)	(改革プラン目標:働き方改革推進、医療DXによる効率化)
<ul style="list-style-type: none"> ○機能神経外科手術システム・4K/ICG内視鏡等の更新・整備 ○低侵襲・高難度手術への対応力強化、標準化された安全な手法、教育の土台構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動染色装置等による迅速・高品質な解析環境整備 ○臨床検体を用いたTRの加速、ゲノム医療推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○SRS画像システム連携、AIを用いたDPC・説明業務支援導入 ○教育・研究・診療データの横断的活用による質の向上と業務効率化
		

■ 統制の効いた持続可能な連携基盤【プラットフォームの活用】



改革プランに基づき、現在機能している沖縄県県・県医師会・地域医療機関等との協議の枠組み(沖縄県地域医療対策協議会等)を活用・拡張することで、地域医療構想と整合を取りつつ実現可能な事業を推進。

■ 期待される効果【本事業を駆動力(エンジン)とした、改革プラン実現の加速化】



3つの基盤整備により、教育・研究・臨床の好循環を創出。改革プランの実行で「人材が集い、育ち、県内病院へ。人材循環する大学病院」を確立し、沖縄県の地域医療水準の持続的な向上に貢献する。

